

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

| | |
|---------|-------------------------|
| 上位の施策名称 | 施策1-2-3 農林水産業の担い手の確保・育成 |
|---------|-------------------------|

1. 事務事業の目的・概要

| | | | |
|----------|--------------|------|--------------|
| 事務事業担当課長 | 農業経営課長 栗原 一郎 | 電話番号 | 0852-22-5392 |
|----------|--------------|------|--------------|

| | | | |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|--|
| 事務事業の名称 | 農業振興地域の整備促進 | | |
| 目的 | (1) 対象 | 市町村 | |
| | (2) 意図 | 市町村が策定する農業振興地域整備計画の適切な運用を推進する | |
| 事業概要 | 優良農地の確保・農業の振興を図るため、市町村が策定した農業振興地域整備計画について、計画策定後の情勢変化に対応した見直しが行われるよう、計画の適正な進行・管理を促進する。 | | |

2. 成果参考指標

| (1) 成果参考指標 | 指標名 | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 単位 |
|------------|--------------------------|------|---------------------|-------|------|------|------|-----|
| | | | 市町村農業振興地域整備計画改定市町村数 | 目標値 | | 4 | 5 | |
| 式・定義 | 市町村農業振興地域整備計画の改定を行った市町村数 | 実績値 | 1 | 4 | 2 | 1 | | |
| | | 達成率 | | 100.0 | 40.0 | 25.0 | | % |
| 指標名 | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 単位 | |
| | | | | | | | | 目標値 |
| 式・定義 | | 実績値 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | |
| | | 達成率 | | 0.00 | 0.00 | | | % |

3. 事業費

| | 26年度実績 | 27年度計画 |
|-------------|--------|--------|
| 事業費(b) (千円) | 0 | 0 |
| うち一般財源(千円) | 0 | 0 |

4. 改善策の実施状況

| | |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む） |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

市町村合併や概ね5年ごとに市町村が実施する基礎調査等により整備計画の改定が必要となっている市町村（対象はH25年度末現在で12市町村）に対し、見直しをよう働きかけた。なお、見直しに着手できない対象市町村の課題を把握するとともに、改定作業中のあるところに対しては計画作成上の助言等を行った。
改定済みの市町村数：7市町村（H25年度末現在）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

1市（松江市）において計画の改定がされた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
市町村合併に伴う旧市町村整備計画の統合がされていない市町、計画策定後、相当の期間が経過している市町において、計画の改定が行われていない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
市町村の改定作業が進まない原因としては、
・農政改革が進められる中で業務量が増大してきており、計画見直しに対応する人員の不足や、
・担当職員が人事異動などにより短期間で入れ替わるため、業務の継続性が維持できないこと、
などにより時間を要しているため
- ③原因を解消するための「課題」
計画の改定に係る市町の人員の確保、担当職員の知識向上を図るための市町への働きかけや研修会の開催など

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

計画の改定が必要な市町に対して、隠岐支庁・各農林振興センターと連携し、改定に向けたスケジュールの提示を求め、それに基づき指導助言を行う仕組みを検討する。
H26年度から基礎調査に着手した町では、基礎調査を外注委託することにより人員やノウハウの不足に対応しており、こうした手法を他市町にも紹介するなどアドバースを行っていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）